

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年09月18日

計画の名称	多可町における持続可能な水環境の整備（2）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	多可町												
計画の目標	処理区の統廃合により効率的・経済的な下水道事業運営を実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	282	A	280	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.7	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	生活排水処理施設を公共下水道へ接続し、下水道処理人口普及率を60%とする。 下水道処理人口普及率 =整備済人口12,300/総人口20,500	0%	50%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

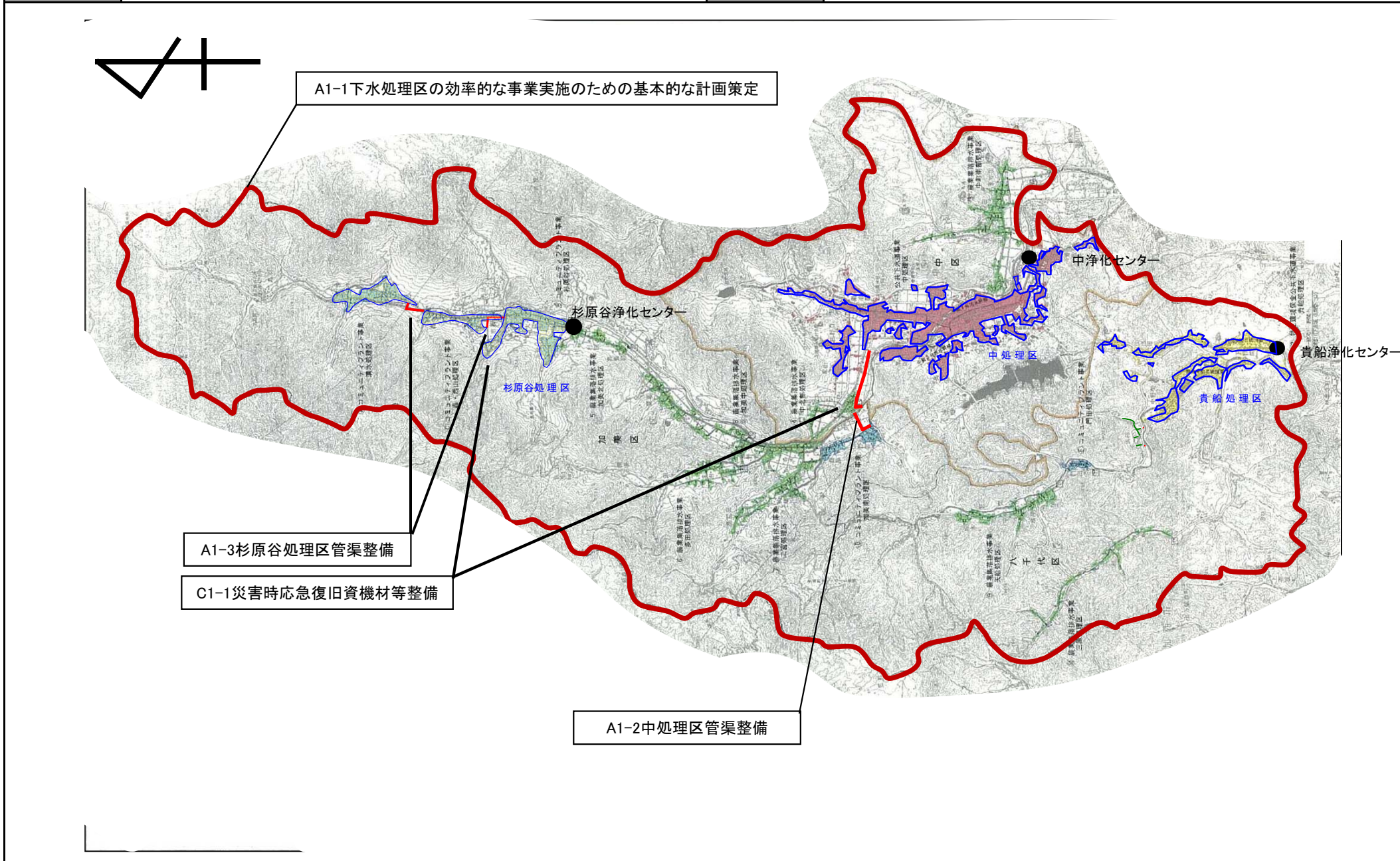
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多可町	直接	多可町	管渠（ 污水）	新設	効率的な事業実施のため の施設計画	施設計画策定	多可町	■	■	■			20		—
	A07-002	下水道	一般	多可町	直接	多可町	管渠（ 污水）	新設	中処理区管渠整備	污水管 φ75mm～φ200mm L =1910m	多可町	■	■	■	■	■	200		—
	A07-003	下水道	一般	多可町	直接	多可町	管渠（ 污水）	新設	杉原谷処理区管渠整備	污水管 φ75mm L=1000m	多可町	■	■	■			60		策定中
											小計						280		
											合計						280		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	多可町	直接	多可町	管渠（ 汚水）	新設	災害時応急復旧資材等整 備	発動発電機購入 2台	多可町				■			2	—
		基幹事業の施設整備に併せ、大規模災害による停電時にマンホールポンプの電源を確保することで下水道機能の維持を図る。																	
											小計							2	
											合計							2	

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 多可町における持続可能な水環境の整備（2）	交付対象	多可町
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）		



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R2	R3
配分額 (a)	20	8	0	6	0
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	20	8	0	6	0
前年度からの繰越額 (d)	5	15	5	0	4
支払済額 (e)	11	18	5	2	4
翌年度繰越額 (f)	15	5	0	4	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	4	0
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	20	0	0	66.7	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				地元調整に期間を要したため	

社会資本整備総合交付金チェックシート

(水の安全・安心基盤整備(下水道関係))

計画の名称: 多可町における持続可能な水環境の整備(2) 事業主体名: 多可町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画(総合計画、生活排水処理計画、都市計画等)との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1) 事業実施に向けた機運がある。	○